

衛星リモートセンシングシンポジウム 2026

2026 年 5 月 25 日

(一社)日本リモートセンシング学会 実利用委員会

(一社)日本写真測量学会 対外協力委員会

シンポジウム概要

日時： 2026 年 7 月 1 日(水)10:00～12:30

場所： 東京大学伊藤国際学術研究センター ギャラリー1(定員 70～80 名)

主催： (一社)日本リモートセンシング学会、(一社)日本写真測量学会

共催： (一社)地理情報システム学会

シンポジウム名称及び趣旨

『衛星データ×AI』が拓く測量の未来～技術の黎明期から、社会実装へ～

【趣旨】

近年の地球観測衛星の爆発的な増加と、AI(人工知能)技術の飛躍的な進化は、測量・地理空間情報分野にパラダイムシフトをもたらしている。現在、衛星データ解析は一部の専門家による特殊技能から、国土管理やインフラ維持、防災対応における「必須のツール」へと変貌を遂げつつある。

本シンポジウムでは、産官学の有識者を招き、最先端の技術動向を俯瞰するとともに、測量現場での実用事例や精度、そして今後の展望について議論する。

「空からの視点」と「知能」の融合が、いかにして測量業務の効率化と高度化を実現し、持続可能な社会基盤の構築に寄与するのか、その現在地と未来図を描き出す。

【プログラム】

時間	テーマ	講演者	所属
10:00～ 10:05	開会のご挨拶	今井靖晃	(一社)日本写真測量学会 対外協力委員長 (5分)
10:05～ 10:35	衛星データ×AI 技術の現在地	神山 徹 様	国立研究開発法人産業技術総合研究所 (30分)
10:35～ 11:05	衛星と AI が描く、次世代の電子国土基本図	小林大介 様	国土交通省国土地理院 (30分)
11:05～ 11:35	建物検知 AI による地図更新業務の効率化 - 衛星データ×AI の社会実装	竹内勇人 様	株式会社スペースシフト (30分)
11:35～ 12:05	衛星データと AI が切り拓く行政業務の効率化	荻原佳祐 様	株式会社パスコ (30分)
12:05～ 12:30	質疑応答、総合討論		(25分)

計. 150 分